

編集後記

皆様のご協力により『ルーテル学院研究紀要』第57号を発刊できました。

紀要第57号の冒頭には谷井淳一教授の退職記念随筆を掲載しました。谷井教授は長年に亘り本学の臨床心理教育の発展に貢献されました。2024年3月に専任教員としての歩みを終えるにあたり、カナダでのサイコドラマワークショップという貴重な体験について寄稿してくださいました。

続いて、キリスト教関係の論文3本と臨床心理の論文2本、そして、社会福祉専攻博士後期課程で博士号学位を取得した岡田隆志氏の博士論文の要約を掲載いたしました。キリスト教の信仰を基盤に、社会福祉と臨床心理の実践を通して社会に寄与する教育と研究を続けているルーテル学院大学の働きをお伝えする研究紀要となりました。

本学『研究紀要』は2019年度（第53号）から電子媒体で発行しております。下記のURLから『ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校機関リポジトリ』から閲覧・ダウンロードができます。

<https://luther.repo.nii.ac.jp/>

機関リポジトリには、『テオロギア・ディアコニア』という誌名で発行されていた第27号（1993年度）から第38号（2004年度）と、2005年に『ルーテル学院研究紀要』と名称を改めた第39号以降を取録しております。1992年以前の『テオロギア・ディアコニア』や『神学雑誌』に遡って、順次リポジトリに登録して参ります。ぜひ、多くの皆様にお読みいただきたいと思えます。

『ルーテル学院研究紀要』の「投稿規程」と「投稿票」はウェブサイトから入手していただけます。

<https://www.luther.ac.jp/education/kiyou/>

キリスト教・社会福祉・臨床心理の対話や協働の場として、また研究と教育の良い循環を作る場として、『紀要』が発展して行けますように、これからも暖かいご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。（加藤純）

2024年2月

紀要編集委員会

加藤 純（委員長）

福島 喜代子

上村 敏文

石川 与志也

松田 崇志